

大阪エコ農産物生産計画・実績

栽培責任者氏名・住所		申請年月日	
------------	--	-------	--

(1) 基本事項

* グレー着色部については任意記載とする。

作物名	露地・施設の別	エコ農産物生産は場の所在地	計画／実績	栽培面積(a)	イ		収穫開始	収穫終了	栽培期間(カ月)	ウ農薬・化学肥料不使用認証の希望	備考 新規申請者の場合は新規と記載 有機JAS認証は場の場合は、有機JASと記載	エ協議会現地確認日(協議会が記入する)
					は種	定植						
			計画		月旬	月旬	年	年				月日
			実績		月旬	月旬	月旬	月旬				月日
			計画		月旬	月旬	年	年				月日
			実績		月旬	月旬	月旬	月旬				月日
			計画		月旬	月旬	年	年				月日
			実績		月旬	月旬	年	年				月日
			計画		月旬	月旬	年	年				月日
			実績		月旬	月旬	月旬	月旬				月日
			計画		月旬	月旬	年	年				月日
			実績		月旬	月旬	年	年				月日
			計画		月旬	月旬	年	年				月日
			実績		月旬	月旬	月旬	月旬				月日
			計画		月旬	月旬	年	年				月日
			実績		月旬	月旬	月旬	月旬				月日
			計画		月旬	月旬	年	年				月日
			実績		月旬	月旬	月旬	月旬				月日
			計画		月旬	月旬	年	年				月日
			実績		月旬	月旬	月旬	月旬				月日

* いずれの用紙も、記入欄が足りない場合は同じ用紙を足して使用する。 * 同一作物であっても、栽培方法が異なるものは段を変えて記入する。

ア 「エコ農産物栽培基準」の「作型」欄に露地または施設の記載のある場合のみ、露地または施設を選択する。 イ 別記I「エコ農産物栽培基準」の「栽培期間」欄に〇カ月と記載のある場合のみ、実際の栽培期間の通算月数を記入する。

ウ 備考欄には、新規申請、購入苗使用の場合その旨を、周年栽培等の場合計画作付数を記入する。非結球レタス、非結球あぶらな科葉菜類、とうがらし類、かんきつ、なばな類については、作物名を記入する。ぶどうについては、品種名を記入する。その他作物については作物名欄に「その他作物」と記入し、備考欄に具体的な作物名を記入する。実績の作付数が異なった場合は、実績作付数をかっこ書きで追記する。報告時、変更、中止があった場合は、その旨を記入する。

エ 有機JAS認証取得者は、エコの申請書類の一部をJAS認証で使用した書類で代替可能である。方法としては、①別紙1-1の「農薬・化学肥料不使用認証の希望」の欄に印を入れ、備考欄に「有機JAS認証」と記述する、②申請者が認証を受けたことを証明する書類（審査結果報告等のコピー）を添付する、③認証を受けたは場であることを証明する書類（は場一覧等のコピー）を添付する、④別紙2の代わりに有機JAS認証で使用した農薬・肥料使用計画のコピーを提出する。その際、計画に記載されている資材の有機資材証明書については提出不要とする、の4点が必要。なお、有機JASの書類の添付が必要なのは、別紙1、2等を有機JAS認証で使用した書類で代替する時のみなので、通常通り府様式（別紙1、2等）を使用して申請する場合には有機JASの書類は不要である。

オ 別紙1、2等については、本様式に記載している事項が全て記載されているのであれば、市町村協議会等が必要とする項目を追加した自作の様式を使用・提出することができる。

栽培責任者氏名		作物名		申請年月	
---------	--	-----	--	------	--

(1)-2 集団申請時の生産者一覧(集団申請の場合のみ添付する)

栽培者氏名	住所	エコ農産物生産ほ場の所在地	栽培面積 (a)		備考
			計画	実績	

- * いずれの用紙も、記入欄が足りない場合は同じ用紙を足して使用する。
- * 栽培者氏名は、集団の役職者を先に記入し、あとは50音順に記入する。なお、役職名は備考欄に記入する。

P * 通しページ番号を栽培責任者が記入する。

栽培責任者氏名	
---------	--

申請年月日

農薬及び肥料の使用計画及び実績

* 太線枠内は、別紙2、3における必須記載事項。

作物名		露地・施設の別	露地	・	施設
-----	--	---------	----	---	----

現地確認	年 月 日		
	適	・	不適

* 栽培期間は、「エコ農産物栽培基準」の「栽培期間」欄に〇カ月と記載のある場合のみ、実際の栽培期間の通算月数を記入する。

栽培概要	は種		定植		収穫開始		収穫終了		栽培期間*	出荷量	マーク使用
<計画>	月	旬	月	旬	年		年		カ月		
	月	旬	月	旬	月	旬	月	旬	カ月	kg	枚
<実績>	月	日	月	日	年		年		カ月		
	月	日	月	日	月	日	月	日	カ月	kg	枚

農薬削減の技術 (計画)	<ul style="list-style-type: none">・マルハナバチ等授粉昆虫・温湯種子消毒 <p><u>使用する計画であれば、○で開むこと (温湯種子消毒を行う場合は必ず記入)</u></p>
-----------------	---

化学肥料 削減の技術 (計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・堆肥の施用 ・緑肥作物の利用 ・局所施肥、側条施肥 ・その他 () <p style="text-align: center;">使用する計画であれば、○で囲むこと（任意記載）</p>
-----------------------	---

	N	P		N	P
合計			合計		
化学肥料上限使用量 (kg/ 10a)	N	P	化学肥料上限使用量 (kg/ 10a)	N	P

* 別紙2等を有機JAS認証で使用した書類で代替する場合は、別紙1の注意事項を参照する。

いずれの用紙も、記入欄が足りない場合は同じ用紙を足して使用する。
農薬、肥料使用計画については、基本的に本様式を使用する。

* グレー着色部、化学肥料由来チツツ成分割合が0%の肥料等の使用予定量は任意記載。
また、使用予定期は、水稻及び果樹は記載、その他の品目は任意記載とする。

* 通しページ番号を栽培責任者が記入する。

栽培責任者氏名		申請年月日	
---------	--	-------	--

(2) 農薬使用計画と実績

作物名	露地・施設の別	露地	・	施設
-----	---------	----	---	----

* いずれの用紙も、記入欄が足りない場合は同じ用紙を足して使用する。

* 農薬、肥料使用計画については、基本的に1枚にまとめた様式（別紙2）を使用する。

* 別紙2等を有機JAS認証で使用した書類で代替する場合は、別紙1の注意事項を参照する。

* 使用予定期は、水稻及び果樹は記載、その他の品目は任意記載とする

栽培責任者氏名	申請年月日
---------	-------

(3) 肥料使用計画と実績

作物名		露地・施設の別	露地	・	施設
-----	--	---------	----	---	----

* いずれの用紙も、記入欄が足りない場合は同じ用紙を足して使用する

* 農薬、肥料使用計画については、基本的に1枚にまとめた様式（別紙2）を使用する

* 別紙2等を有機JAS認証で使用した書類で代替する場合は、別紙1の注意事項を参照する

* グレー着色部、化学肥料由来チッソ成分の割合が0%の肥料・資材の使用予定量については任意記載とする。

